

- ⑨「カウンセラーに必要な脳と心の知識とは」 富永 大介（放送大学沖縄学習センター所長）
- ・人間は「生物」であることを忘れてはならないということ。脳のことをもっと勉強しなくっちゃ！と思いました。
 - ・「脳は人と共有して初めて成長できる」という言葉が印象に残りました。社会脳についてもっと学んでみたい。
 - ・オキシトシン、幸せホルモン、愛情ホルモンなど、初めて知ることばかりでした。
 - ・親和動機と達成動機のことが興味深かった。

- ⑩「カウンセリングの基礎的技術」 仲村 将義（上級教育カウンセラー）
- ・カウンセリングによって治るのは、本人の持っている力である。人は死ぬ5秒前まで変わる。カウンセラーは自分の人生を充実させること。パーソナリティーはめがねを変えるようなもの。
 - ・技術よりも心構えや態度が必要だと感じた。その日のクライアントの相性によって充実度が違う。悩んだ時が人の成長につながる。
 - ・クライアントをなおすのではなく、選択肢を広げるお手伝いをしてあげる。パーソナリティーは変えられる。めがねみたいなもの。

2：教育実践交流発表会 8月11日（土・祝） 10：00～12：10

3名の会員による実践発表が行われ、実践に学び、明日へのヒントを得ることができました。発表者の先生方、ありがとうございました。「私も発表したい！」とお考えの会員の方は、事務局まで連絡ください。中級以上の資格取得に必要なポイントとしてカウントされます。ご自身の活動の振り返りとしてもとてもいい機会ですよ。

	発表者名（領域）	タイトル
1	富山 雄功（高校）	「職員、保護者、外部機関との連携」
2	宮城 るり子（相談）	「自分探しをする高校生」
3	宮城 敏子（相談）	「自己肯定感・自己効力感を育てる心理技法の活用を通して」

<参加者の声>

- ・教育カウンセラーとして、守備範囲を超えた場合は病院や他機関にリファーすることの大切さを、個々の事例を通して改めて実感した。
- ・それぞれの先生が、それぞれの立場で関わってこられた貴重な経験、事例を発表していただき、感謝です。とても参考になりました。今後、自らの仕事に生かせたらよいと思います。ありがとうございました。
- ・事例発表の後で、少しでもいいので、グループ討議の時間を設けたらどうでしょうか。



いいですね～。
検討してみますね。

3：教育講演会 8月11日（日） 13：30～15：00

演 題：「発達障がいから学ぶ子どもの育ち」

講 師：勝連 啓介（名護療育医療センター附属育ちのクリニック院長 小児専門医）

<参加者の感想>

- ・特異な事は生まれ持ったもの・・・伸ばす手伝いをしようと思いました。
- ・失敗してもいいから、たくさんのかを経験をできるようにさせていきたいと感じました。
- ・発達障がいの特性で子どもを見ている自分がいることに気づきました。それは子どもの性格では無いということ。
- ・「子どもは今を全力で生きている」関係性を持つ過程でこそ子どもの育ちが保証されていく。
- ・ユーモアを交えながら、様々なエピソードや写真、絵などを示して分かりやすく説明していただき、とても勉強になりました。ぜひ来年もお願いしたい。
- ・プレパレーション（注※）を大事にします。子どもの生活の質、連続性、関係性がよく分かりました。朝の出来事は前の日で決まっている！ワクワクを作るようにしたい。

注※プレパレーション→手術や検査、治療などに子ども自身が主体的に取り組めるように、情報提供や疑似体験をして心の準備を援助すること。

4：総会 8月11日（日） 15：30～16：00

実践報告会に引き続き総会が行われ、2018年度の事業報告、決算報告、監査報告の後、2019年度の事業計画案、予算案が提案され、参加者全員の拍手でもって承認されました。

総会にご参加いただいた会員の皆様、委任状をご提出いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

5：養成講座

2019年2月9日（土）～11日（月・祝）、沖縄キリスト教学院大学にて「教育カウンセラー養成講座」が開催されます。今回の目玉は、アンガーマネジメントの第一人者であられる早稲田大学教授・本田恵子先生です。『キレイやすい子へのアンガーマネジメント』『先生のためのアンガーマネジメント』『キレイやすい子の理解と対応—学校でのアンガーマネジメント・プログラム』などのご著書があります。また、久々にあの楽しい講座で定評がある諸富祥彦先生もご登壇です。さらに前回の養成講座に引き続き大友秀人先生もお招きしました。早速、申込みをしなくっちゃ、ですよ！急いでね。



会員の皆様には、すでに本部から養成講座のご案内が届いている方もいらっしゃるかと思います。詳細をご確認の上、お申し込みください。

※ 中級受験者は、申し込みの際にスーパービジョン記録票とレポートも併せて提出しなければなりません。ご自身のケースをレポートにまとめ、スーパービジョン記録票を作成したうえで上級教育カウンセラーにスーパービジョンを受けなければいけません。ご不明な点はお問い合わせください。

☆上級教育カウンセラー

石川・伊徳・稲葉・下門・神保・知念・照屋・富永・友利・仲本・波平・宮城